

2022年度春季関東大学バレーボールリーグ戦

開催要項

主 催 一般財団法人関東大学バレーボール連盟
主 管 一般財団法人関東大学バレーボール連盟

I：試合日程及び運営

- 1、開催期間
 - ・2022年4月9日(土)～7月10日(日)(1～3部)
 - ・2022年4月9日(土)～8月7日(日)(4～9部)

- 2、入 場 料
 - ・チーム関係者1000円、一般3000円

- 3、大会運営及び日程・会場
 - (1) 学連員または代表校を中心にリーグ戦を円滑に行うように心がけること。
 - (2) 日程・開催会場は各部で決定する。

- 4、開会・閉会式
 - ・開会式、閉会式については実施しないものとする

- 5、流行性疾患及び災害時の対応
 - (1) 新型コロナウイルス感染症への対策について
公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開時のガイドライン」、関東大学バレーボール連盟「運営ガイドライン」を遵守すること
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対策として大会関係者に以下の取組を定める
 - 各チーム体調の管理をして大会に参加すること。
 - 参加するにあたり、厚生労働省が推奨する新型コロナウイルス接触アプリ「COCOA」をインストールしておくことを推奨する。
 - (3) **インフルエンザ・コロナウイルス等の流行性疾患発症の場合は速やかに学連に報告すること。**
報告がされなかった場合、規律委員会にかけ処分を決める。
 - (4) 多数のチームで多数の選手・スタッフが発病している場合や災害等が発生している場合は、学連〈理事長〉が、チーム状況を十分に把握したうえで、延期や中止するか否かを判断し、延期・中止決定の場合は速やかにホームページに掲載する。
 - (5) 学連はチーム状況を把握のうえ、試合再開の日程(平日を含む)、会場レフェリーの確保等の準備ができ次第、速やかに試合日程をホームページに掲載する。
 - (6) 日程等の調整のうえ極力全日程の消化に努めるが、競技委員会で以降試合の続行が不可能と判断された場合や、途中で棄権チームが多数発生し以降すべての試合に参加できない場合はその時点で大会は中止とする。
また、大会期間中に棄権チームが1, 2週等のみの棄権でその後出場可能になった場合は、予備日を使い極力全日程の消化に努める。
 - (7) 大幅な延期になった場合は、危機管理委員会で審議し、理事会より取り扱いを決定する。

- (8) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項(誘導)に従って適切な行動をとること。
- (9) 大会2週間前から大会終了後2週間の期間に新型コロナウイルスの感染を疑う症状または発症した場合は保健所に確認の上、濃厚接触者の有無等について学連に速やかに報告すること。

また、経過観察について、以下の専用窓口にて随時報告する事。

○ 感染症対策窓口：health@juvf.jp

○ 感染症対策電話番号：080-7024-8970

大会当日、受付にて会場に入場するすべての方を対象に非接触型体温計で体温を測る。

II：大会参加資格

1、チーム参加資格 下記の条件を満たしていること。

- (1) 2022年度(公財)日本バレーボール協会(JVA)登録規定により大学として登録されその在籍学生で構成されたチームであること。
- (2) チームに在籍している学生はJVA個人登録(MRS)の登録者であること。
- (3) 2022年度(一財)関東大学バレーボール連盟、2022年度(一財)全日本大学バレーボール連盟の加盟校および登録者であること、また本大会にエントリーされていること。
- (4) Iの5(1)の条件を満たしている事。
- (5) リーグ戦の選手登録の回数制限(年間2シーズン制の場合)について。大学の最短修学年数の2倍の回数内とする。(リーグ戦が春秋と1年に2回開催されるため)
※2年制大学は4回、4年制大学は8回、6年制大学は12回
学連登録年数は大学最短修学年数とする。
- (6) 大学院生、聴講生等は選手登録を認めない。
- (7) チームに必ずC級以上の審判資格を所有した者がチームの構成員に在籍していること

2、大会出場の選手

- スタッフ手続き
- (1) スタッフ・選手はチームからのエントリー届に基づきプログラム(下部パンフレット)に記載されていなければならない。
 - (2) スタッフ・選手のエントリーの人数は部長(大人であり当該大学教職員)、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー(当該大学生)各1名、選手のエントリー人数は99人までとする。
 - (3) プログラム(下部パンフレット)に記載されていないスタッフ、選手は試合前に提出する「構成メンバー表」用紙に記載することはできない。
 - (4) スタッフ・選手の追加エントリーの手続きは以下(①または②)の手順を行い、プログラム(下部パンフレット)に追加記載されて完了する。
 - ① 登録していない、またはエントリーされていない学生は追加登録原簿(Excel)、JVA登録(MRS)加入選手一覧(pdf)、追加エントリー届(Excel)を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。
 - ② 登録していない、またはエントリーされていない大人のスタッフ(在籍学生以外)は

追加登録原簿 (Excel)、追加エントリー届 (Excel) を学連担当委員に提出し、追加記載されて完了する。

- (5) 部長以外のスタッフを変更し試合に出場する場合は、大会当日、本部に臨時役員変更届を届けて許可を得ること、構成メンバー表に記載されていることで変更手続きが完了する。

(選手でエントリーされている人がスタッフを行う際も、臨時役員変更届を本部に提出する事)

(6) 追加登録・追加エントリーの期間

試合出場週の水曜日 (18時まで)

* add@juvf.jp 以外に提出されたエントリーは受け付けません。

Ⅲ 大会申し込み手続き

※エントリー提出にあたり、開催要項・運営ガイドラインを熟読し了承の上で書類を提出してください。

1、エントリーについて

締切り日【2022年3月6日(日)18時まで】

※エントリー届を提出し、受付後の変更はどのような理由があっても、一切認めないので注意すること

- (1) 原則としてエントリー締め切り期日までに間に合わない場合は、参加を一切認めず自動的に棄権となる。
- (2) エントリー締切り後に、新入生の入部を確認した場合は追加登録・追加エントリーを必ず行うこと。(Ⅱ2(4)に記載)
- (3) 棄権すると分かった時点で学連に連絡し、棄権届を学連事務所に郵送すること。

2、リーグ参加料

- (1) 男女1・2部は 7万円とする。

3、写真について

直轄リーグのみ集合写真を撮影すること。

また、個人写真は1部リーグのみ撮影すること。

Ⅳ 競技・審判

1、競技規則

本大会は2022年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

2、競技方法

- (1) 男子1部、女子1部は13チーム総当りのリーグ戦とする。
- (2) 男子2部は12チーム総当りのリーグ戦とする。
- (3) 女子2部は8チーム総当りのリーグ戦とする。
- (4) 男女3部は12チームを前リーグ戦の試合成績でA・Bのグループに分けリーグ戦を行いその成績を基に上位、下位グループを作成しさらに反対グループの3チームと対戦し全ての試合結果を基に順位を決定する。
- (5) 男女4部～9部は12チームを前リーグ戦の試合成績でA・Bのグループに分けリーグ戦を行い、その成績を基にA・Bの同じ順位同士で順位決定戦を行う。
- (6) 男女1～3部は5セットマッチ、4部以下は3セットマッチとする

- (7) 給水の為のタイムアウトについて
- ①熱中症防止の観点から、室内温度が 30 度以上になることが予想される場合は、試合開始前に、給水タイムアウトを採用することを各チームに伝える。
 - ②チームスタッフは給水タイムアウト時には、選手と控え選手に接触(選手への声掛け等)をしてはならない。接触した場合は注意事項となる。
- (8) 消毒のためのタイムアウトについて
- ①感染症拡大防止の観点からセットごとにどちらかのチームが 13 点 (5 セット目のみ 8 点) になった際に消毒タイムアウトを採用する。
 - ②チームスタッフは消毒タイムアウト時に、選手と控え選手に接触(選手への声掛け等)をしてはならない。接触した場合は注意事項となる。
- (9) セット間に選手・スタッフは手指等の消毒を行うこと。

3、新型コロナウイルス

感染症対策

公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開のガイドライン」と学連の「運営ガイドライン」を遵守すること。

4、競技開始時刻

- (1) 入場可能時刻、フロア開放時刻、試合開始時刻は以下の通り設定する。

	入場可能時刻	フロア開放時刻	試合開始時刻
1 試合目	9:00	9:15	10:00
2 試合目	11:30	11:45	12:30
3 試合目	14:00	14:15	15:00

*会場によっては変更される場合がある。

試合の結果によって進行が遅れた場合は学連より連絡をする。

- (2) 大会期間中プロトコールは第一試合に限り開始設定時刻より 1 1 分前に開始する。
- (3) チームが正当な理由なしに、定められた時間までに(選手が 6 人以上)競技場に現れない場合は、不戦敗となる。
- ① 試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より 1 5 分後までとする。
 - ② 試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より 1 5 分後までとするため、試合の進行状況を確認すること。
 - ③ 試合の進行状況によっては、コートを変更して行う場合もあるので、他のコートの進行状況にも注意すること。

5、試合使用球

- (1) 本リーグ戦は、男子がミカサ製カラーボール (V300W)、女子がモルテン製カラーボール (V5M5000) を使用する。

6、組合せ

- (1) 試合組合せは昨秋の試合結果に基づき作成する。試合の順番が偏らないように配慮して作成する。

- 7、レフェリー (1) ファーストレフェリー・セカンドレフェリーは派遣するが、派遣するレフェリーが足りなくなった場合、補助に当たるチームの審判資格取得者がファーストレフェリーもしくはセカンドレフェリーを担当することもある。
- (2) ラインジャッジ、点示、スコアラー、リベロチェック、ボールリトリバーは各チームより選出する。その際マスクを着用する、学連から手袋をもらう、こまめにボールを消毒する等感染症対策をすること。

8、競技選手・スタッフ

メンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
- ① エントリーする 18 名(選手 14 名+ベンチスタッフ 4 名)を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること。
 - ② 第 1 試合は、開始設定時刻の 30 分前までに、本部受付へ提出すること。
 - ③ 第 2 試合日以降は、会場入場後に本部受付へ提出すること。
2 試合日以降のチームは、前の試合開始前に提出しないこと。
 - ④ 構成メンバー表提出後の変更は認めない。
 - ⑤ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合
a. 臨時役員変更届にて学連担当者に申し出ること。
b. スタッフの登録を定められた期限までに完了していること。
 - ⑥ 部長はチームスタッフではないため、監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとして、ベンチに入ることはできない。但し、部長とチームスタッフを兼任している場合はチームスタッフとしてベンチに入れる。部長としてベンチに入る者はチームスタッフとしての行為をできないものとする。
- (2) 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りについて 13 名以上選手エントリーするときは 2 名のリベロ・プレーヤーを登録しなければならない。
- (3) 当日はエントリーする 18 名(選手 14 名+ベンチスタッフ 4 名)を構成メンバー表に 青ペンで記載し、本部へ提出すること。
- (4) 学生以外のスタッフについては、男女同一大学の試合当日のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合は、男女どちらか 1 つのチームにエントリーを行うこと。又は 代理人(スタッフ、エントリー者に限る。)を立てる等の処置を取ることができる。

9、選手交代の手順

- (1) 各セット開始前に提出されたラインアップシートの変更は、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後は認められない。
- (2) 選手交代を要求するときは、交代選手がサブスティチューションゾーンに入る。複数の場合は、同時にサブスティチューションゾーンに出向く。その際、選手が準備できていない場合は拒否される。(その際遅延の罰則を適用されることが有る。)
- ① 交代選手がサービスホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入った場合は、不当な要求で拒否される。
 - ② 交代選手がサービスホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入りセカ

ンドレフェリーがホイッスルした場合でも、遅延の罰則となる。

- (3) セカンドレフェリーが許可した後、選手交代をキャンセルした場合は、遅延の罰則が適用される。
- (4) 交代する選手は、サイドライン上でセカンドレフェリーの指示に従い合図によって交代する。
- (5) スコアラーは記録用紙への記入が完了したら両手を挙げる。
- (6) 複数の選手交代の場合はセカンドレフェリーの指示に従うこと。

10、選手・スタッフの途中参加

- (1) 選手・スタッフの試合中の途中参加はその都度できる。
(遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。)
 - ① 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことを審判にラリー間に伝え審判が確認した時点から、権利を行使することができる。監督はセット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインする。
 - ② 監督以外のスタッフ・選手も途中参加することができる。

11、公式練習及び試合時のベンチ

- (1) 公式練習は全日程、サーブ権を得たチームからそれぞれ1チーム3分間合同の場合は6分間とする。
- (2) 公式練習からベンチに着席を認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者最大14名のみが参加することができる。クイック・モッパ―2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。
- (3) 公式練習前に監督及びチームキャプテンは、第1セットのラインアップシートをセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。但し、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後、ラインアップシートの改正は認めない。
- (4) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
- (5) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー（クイック・モッパ―を含め3名）を配置すること。ただしボールキーパーは、他コートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切認められない。
- (6) ボールカゴ及び部旗等は、公式練習後に競技エリア外へ出すこと。(当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。)部旗を壁に立てかけず、床に倒して置くこと。
- (7) ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。
- (8) 感染症対策として、タオル・ボトル・アイシングバッグは共用を禁止する。

12、ユニフォーム について

- (1) ユニフォームナンバーについて
 - ① ユニフォームナンバーの大きさは、胸部側は高さが 15 cm以上、背部側は高さが 20 cm以上であり、文字幅は 2 cm以上のものでなければ着用を認めない。
 - ② ユニフォームのナンバーの色はユニフォームと対照的な色(はっきりと区別がつく色)と明るさでなければならない。
- (2) チームキャプテンは長さ 8 cm、幅 2 cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (3) ソックスについては長さの色を統一し、ベリーショートソックスのようなくるぶしが見える短いソックスは認めない。
- (4) アンダーウォーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。
(膝関節の医療用装具を除く。)
- (5) リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とははっきりと区別がつく色(対照的な色)でなければならない。(例：競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする)
リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (6) リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に 2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
- (7) 正規登録のリベロは、リベロ・ビブスの着用は認められない。
- (8) エントリー届提出後、大会期間中の選手のユニフォーム番号の変更は一切認めない。(エントリーと異なる番号のユニフォームを着用し試合に出場した場合没収試合とする)
 - ① 1選手の重複番号の使用は認めない。また、1つのユニフォーム番号につき 1選手とする。
 - ② 使用するユニフォーム番号は 1～99番とする。

13、リベロ・プレーヤー の取扱いについて

- (1) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督(監督不在の場合はゲームキャプテン)が、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。(リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い)。
- (2) リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない。

- (3) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められないが、もう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
- (4) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
- (5) 監督がチームキャプテンをリベロとして再指名することを求めた場合、この要求は認められる。
- (6) 監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立っていなければならない。（再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る）しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
 - ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
 - ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

14、ワイピング行為 について

- (1) クイック・モップは当該チームから2名まで配置することができる。服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので行う。
- (2) クイック・モップがない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モップが必ず行うこと。
- (4) クイック・モップが応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。

15、競技全般の不法 行為の取扱い

- (1) 2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) （一財）全日本大学バレーボール連盟及び（公財）日本バレーボール協会に登録されていない学生、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていない大人、エントリーされていない選手・スタッフが試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
 - ① 試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に従って処分する。

(ルールブックに記載)

- ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。
- (4) 不法な行為については、同一人物の同一試合での繰り返し行為には、累進的な制裁を受ける。

- ① 「非スポーツマン的行為」及び「不法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。

原則として次の手順を踏む、行為の内容によっては、レッドカードもあり得る。

(例)

- ・警告：ステージ1 口頭での警告
 - ・警告：ステージ2 イエローカードでの警告
 - ・ペナルティ：レッドカードを示し、相手に1点与える
 - ・退場：イエロー、レッドカードを同時に示す（そのセット終了までペナルティ・エリアに座る）
 - ・失格：イエロー、レッドカードを別々に示す（競技コントロールエリアから退去する）
- ② 「攻撃的行為」については、1回目で失格とする。

16、試合前の待機中のチームについて

- (1) 試合終了後の挨拶が終了し、換気、消毒後学連員の指示があるまでフロア外に待機すること。
- (2) アップ・ストレッチはフロアに入ってから始めること、前試合中のアップ・ストレッチは禁止とする。

17、部長・チームスタッフについて

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長・マネージャー以外の全ての役職を行うことができる。
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
- (3) 当該大学の学生は、(公財)日本バレーボール協会、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた、統一された服装とする。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合、競技委員長の判断により緩和することができる。
- ※部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。

- (5) 試合中の中断の要求ができるのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (6) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- (7) レフェリーの判定に対するアピールや抗議、監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。
- (8) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。(相手チーム選手の番号や名前を特定する行為)このような行為は制裁の対象となる。
- (9) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章(部・監・C・T・M)を付けなければベンチに入ることができない。※ただし、左胸につけること。

18、応援について

観客席またアップゾーンでの大声での応援は禁止とする。

*応援とはあらかじめ決められた掛け声、またそれを伴う動作(踊るなど)とし、指示だしや、喜ぶなどの声は常識の範囲内を出していいこととする。

19、学生補助役員

- (1) 学生補助役員は16名(スコアラー1名、リベロチェック1名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名・ビス2名)で行う。その際マスクの着用をする、学連から手袋をもらう、ボールをこまめにアルコール除菌するなど感染症対策をすること。
- (2) 第1試合の補助員については第3試合の両チームが担当する。
(スコアラー1名、リベロチェック1名、ラインジャッジ4名、ビス2名)
*原則ボール・リトリバーまた、点示は試合をしているチームから出すこと。
学連員が不足している部はビスを3人出すこと。
- (3) 第1試合の学生補助役員はプロトコール10分前までに記録席に集合すること。
- (4) 第2試合以降の学生補助役員は前試合終了直後の担当となるため速やかに記録席に集合すること。
- (5) ラインジャッジはレフェリーの一員として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。
- (8) 人数が不足する場合は、対戦する相手チームに協力を依頼すること。
- (9) チームで統一された服装(ユニフォーム可)で行い、任務を遂行すること。

20、規律委員会 について

規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。

21、棄権・没収 の取扱い

- ・別紙の2022年春季関東大学バレーボールリーグ戦順位決定方法（1・2部）
2022年秋季関東大学バレーボールリーグ戦（3～9部）をご覧ください。

22、リーグ戦の 順位決定方法

- ・別紙の2022年春季関東大学バレーボールリーグ戦順位決定方法（1・2部）
2022年秋季関東大学バレーボールリーグ戦（3～9部）をご覧ください。

23、昇降格について 各部最下位のチームが自動降格とする。

(1) 男女1・2部

男女1・2部については以下の通り入替戦を行う。

男女1部11位－2部2位、男子2部10位－3部2位、女子2部6位－3部2位

男女1部12位－2部1位、男子2部11位－3部1位、女子2部7位－3部1位

(2) 男女3部～9部

男女3部～9部については自動入替とする。

24、入替戦

(1) 期日・会場 1・2部間…5月29日(日) 会場:未定

2・3部間…5月29日(日) 会場:未定

(2) 競技方法・競技規則

a) 5 ボールシステム、5 セットマッチとする。

b) 2022年度公益財団法人日本バレーボール協会 6人制競技規則とする。

c) 出場資格:リーグ戦に最終日まで登録された選手に限る。

V、会場使用上の注意

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。不明な点は学連担当者(代表校)に尋ね適切に行うこと。
- (2) 会場に出たごみは各チーム(各自)責任をもって持ち帰ること。会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止する。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しない。また、鼻水、唾液などが付いたごみや使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用してください。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。
- (3) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。
- (4) 喫煙について、全会場喫煙所以外での喫煙を禁止とし、指定場所以外での喫煙を目

撃した場合は該当チームを出場停止処分とする。チーム内で必ず徹底すること。

- (5) 飲食する際は手洗い・うがい・手指の消毒を行い3密を避けること。
- (6) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わない。各チーム荷物の管理は徹底すること。
また、忘れ物・紛失物に関しては各会場受付にて管理する（リーグ戦開催中のみ）。貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。
- (7) チームの荷物の置き場は、各会場にて学連員に確認すること。
翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して最小限のスペースに収まるよう協力し、アルコール除菌等により清潔にして帰ること。
チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても、当連盟では一切の責任を負わない。

VI、その他

- (1) 本リーグ戦前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (2) 本リーグ戦の期間中に選手が負傷した場合、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。以後の責任は負いません。
- (3) 2022年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則、(一財)関東大学バレーボール連盟開催要項事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会において、処罰の対象となるので十分注意すること。

本リーグ戦に関する問い合わせ先

一般財団法人関東大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

T E L : 03-5244-4804 (受付時間は20:00までとする)

現在、学連事務所での電話での対応は行っていません。

ご意見やご不明点に関しては、下記のメールアドレスにて申しつけ下さい。

E-mail : info@juvf.jp

HP : <http://kanto.volleyball-u.jp/>